

明石市 第1期 SDGs 未来都市計画 全体概要

タイトル: SDGs未来安心都市・明石 ~いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで~ 自治体名: 兵庫県明石市

全体計画の概要: 誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるやさしいまちの実現を目指し、①環境と豊かな暮らしの調和、②やさしい共生社会の創造、③地域の資源・特性を活かした活力ある経済の3つの方向性のもと、漁獲量の減少や待機児童、地域コミュニティの希薄化、中小零細事業者の後継者不足などの課題解決に取り組む。

1. 将来ビジョン	地域の実態 現状: 交通の高い利便性、若い世代の転入超過、先導的共生社会ホストタウン 課題: 漁獲量の減少、待機児童、地域コミュニティの希薄化、中小零細事業者の後継者不足	2030年のあるべき姿 SDGs未来安心都市・明石~いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで~ ①環境と豊かな暮らしの調和、②やさしい共生社会の創造、 ③地域の資源・特性を活かした活力ある経済
	2030年のあるべき姿の実現に向けた優先的なゴール・ターゲット	経済: 8働きがいも経済成長も(ターゲット1, 2, 3, 5) 9産業と技術革新の基盤をつくろう(ターゲット2, 3) 社会: 3すべての人に健康と福祉を(ターゲット2, 6, 8) 11住み続けられるまちづくりを(ターゲット2, 3, 7) 環境: 13気候変動に具体的な対策を(ターゲット1, 3) 14海の豊かさを守ろう(ターゲット1, 2, 4)



2. 自治体SDGsの推進に資する取組	自治体SDGsに資する取組 ①豊かで美しい海づくり ②気候非常事態宣言に基づく取組 ③ユニバーサルデザインのみちづくり ④みんなの居場所づくりプロジェクト ⑤地域総合支援センターを拠点とした住民の支え合いと公的支援 ⑥高齢者支援の充実 ⑦子どもを産み育てやすい環境の整備 ⑧官民連携による地域事業者の支援 ⑨地域事業者のユニバーサル対応	「あかし支え合い循環型社会」構築事業 0歳児・高齢者への紙おむつの宅配等を通じて、子育てや介護を社会で支えるとともに、豊かな海の保全につながるプラスチックごみの削減や、中小事業者の持続可能な経営環境の整備に統合的に取り組む
	特に注力する先導的取組	三側面の取組 [経済] ●SDGs登録・認証制度の創設 ●人材不足・後継者不足への対応 [社会] ●子ども・子育て家庭の支援 ●地域での支え合いの促進 [環境] ●ごみの対策(プラスチック、漂流・漂着ごみ)

三側面をつなぐ統合的取組

- 【おむつの宅配&リサイクル事業】**
- ・0歳児家庭や在宅介護世帯への紙おむつの宅配・見守り
 - ・フードドライブの実施
 - ・紙おむつリサイクルの調査・研究

3. 推進体制	各種計画への反映 ・SDGsを基軸に据えた「あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)」を策定 ・2022年に策定した環境基本計画へ反映 ・その他の個別計画も改定時に反映	行政体内部の執行体制 ・あかしSDGs推進審議会(学識経験者、関係団体、公募市民等で構成、毎年度の進捗状況の評価について意見聴取・審議) ・SDGs庁内推進会議	ステークホルダーとの連携 ・JR西日本、山陽電鉄(ユニバーサル対応等) ・明石商工会議所、市内金融機関(官民連携による地域事業者支援、事業者のユニバーサル対応等) ・校区まちづくり協議会(まちづくり全般)
	自律的好循環の形成へ向けた制度の構築等	・SDGsに取り組む地域事業者等の登録・認証制度の創設 ・明石市事業承継ネットワーク(明石商工会議所、市内金融機関、士業団体等と連携し、事業所数の減少を抑え、持続可能な経営環境の整備に連携して取り組む)	

